

2 資料収集保存事業

(1)戦争体験聞き取り調査

滋賀県平和祈念館では、戦争当時滋賀県にお住まいだった方、あるいは滋賀県にご縁のあった方を対象に、調査員2名を配置して戦争当時の話の聞き取り調査を行っている。体験者の方の高齢化が進む中、一人でも多くの方の体験を記録として残すことが急務となっている。平成24年度末までに、1,559名から体験談を聞くことができた。

①聞き取りをする

戦争を体験された方から、直接調査員がお話を聞いている。この時に聞き取りしたことは、本人の了承を得て録音し、音声データや動画も保管している。資料をお持ちの際は資料を見ながら聞き取りをすることもある。



聞き取り調査風景

②記録する

聞き取りした体験談は、口述のままできるだけ忠実に再現して文章化する。お話の内容に関して調査員以外が読んでも分かりやすいよう、別の資料から補足的な説明をつけたり、わかりにくい言葉に説明を足したりすることもある。



文章化する

③調査票として保管する

文章化したものを、聞き取りをした本人に確認してもらい、変更箇所は修正を行う。完成したものは、調査票として滋賀県平和祈念館の一次資料として保管している。



調査票として、データと紙媒体で保存

(2) 収集資料の整理・保存

滋賀県平和祈念館では、体験談にまつわる資料や、戦争当時の滋賀県に関連する資料 30,000 点以上（平成 24 年度末現在）を収集し、その整理、保管を行っている。寄贈いただいた資料は、各家庭で長期間置いておかれたものが多く、保存状態もまちまちである。現在の状態をこれからも保ち、次世代へ伝えていくために、適切な保存作業を日々行っている。

① 施設

収集する資料は、個人のライフストーリーに関連するため、兵事に関するものから、日用品まで多岐に渡っている。そのため、資料それぞれの性質によって異なった扱いが必要となることから、資料の性質によって収蔵庫を 5 つに分け、温度、湿度、光の管理、生物被害対策をとっている。



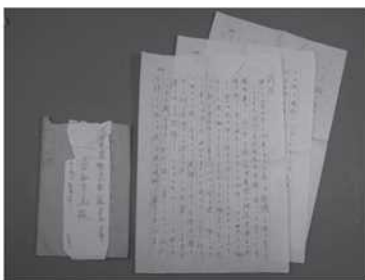
② 収蔵資料

これまでに多様な種類で膨大な量の資料が収集され、現在も資料の寄贈が続いているため、日々の資料整理が必要となる。そのため、寄贈者別に資料を整理し、資料の性質に見合った処理を施し、利用に向けて配架、整備、保管を進めている。



資料整理風景

平成 23 年度収集資料（一例）



戦地から出された家族への手紙
野洲市 嶋村勝枝さん提供



予科練制服（上着）
東近江市 石島平吉さん提供



予科練制服姿写真
東近江市 石島平吉さん提供

3 普及啓発事業

(1) 開館記念講演会

平成 24 年（2012 年）5 月 20 日、裏千家 15 代家元 大宗匠 千 玄室氏を講師に迎え、「まことの平和は」と題して開館記念講演会を開催した。講演会には 360 人の参加者があり、茶道裏千家淡交会滋賀支部のみなさんの協力により、お茶が振る舞われた後、千氏の戦争体験や日本の伝統文化の根幹を形成する家元としての豊かな経験に基づく話に熱心に耳を傾ける姿が見られた。



(2) 平和学習講座

<第 1 期>（4 回連続講座・平成 24 年（2012 年）7～10 月の第 1 土曜日開催）

○講座名 中島伸男の東近江「戦争と平和」ものがたり

○講師 中島 伸男 氏

○日時・内容

- | | | |
|------|-------------------------------------|----------|
| 1 回目 | 平成 24 年（2012 年）7 月 7 日 13:30～15:30 | |
| | 「荻田常三郎、東近江の空を飛ぶ」 | 受講者 68 名 |
| 2 回目 | 平成 24 年（2012 年）8 月 4 日 13:30～15:30 | |
| | 「日本で三番目の陸軍飛行場を誘致」 | 受講者 40 名 |
| 3 回目 | 平成 24 年（2012 年）9 月 1 日 13:30～15:30 | |
| | 「太平洋戦争と陸軍八日市飛行場、そして住民」 | 受講者 45 名 |
| 4 回目 | 平成 24 年（2012 年）10 月 6 日 13:30～15:30 | |
| | 「敗戦と陸軍飛行場－歴史を語り継ぐことの大切さ」 | 受講者 34 名 |

<第 2 期>（4 回連続講座・平成 25 年（2013 年）1～4 月の毎月第 2 土曜日）

○講座名 滋賀県の戦争遺跡

○講師 滋賀県戦争遺跡研究会 中井 均 氏（1 回目、4 回目）
辻川 哲朗 氏（2 回目）
橘 尚彦 氏（3 回目）

○日時・講師・内容

- | | | |
|------|-------------------------------------|----------|
| 1 回目 | 平成 25 年（2013 年）1 月 12 日 13:30～15:30 | |
| | 「戦争遺跡って何だろう？」 | 受講者 41 名 |

2回目	平成25年(2013年)2月9日	13:30~15:30	
	「滋賀県の戦争記念碑」		受講者 42名
3回目	平成25年(2013年)3月9日	13:30~15:30	
	「大津・御幸山の西南戦争『記念碑』について」		受講者 19名
4回目	平成25年(2013年)4月13日	13:30~15:30	
	「捕虜収容所と干拓事業」		受講者 33名

(3) 館長講座「自分史づくり講座」

平成24年(2012年)7月から、毎月第3土曜日に「自分史づくり」をサポートする「自分史づくり講座」を開始した。開講から平成24年度末までの全9回に延べ84名の受講があった。

自分史とは、自分の記憶をたよりに、自分のことばで、自分の生きた時代の証言をつづることである。特に昭和の前半を生きた人は、その記憶を確かめつつ、それを次の世代に伝える義務があるとの考え方から、当館では引き続き「自分史づくり」をサポートしていく。



(4) 戦争遺跡見学フィールドワーク

<第1回>

- 日時 平成24年(2012年)7月29日 13:30~15:30
- 主な見学場所 掩体壕(東近江市)
冲原神社(東近江市)
 - ①布引運動公園で、全体を俯瞰
 - ②コンクリート製掩体壕の見学
 - ③土製掩体壕の見学
 - ④冲原神社 境内にある陸軍八日市飛行場の営門の門柱の見学
- 講師 中島 伸男 氏(八日市郷土文化研究会会長)
- 参加者数 30名

<第2回>

- 日時 平成24年(2012年)8月12日 10:00~12:00
- 主な見学場所 蒸気機関車避難壕(米原市)
- ガイド 藤本 伝一 氏(岩脇まちづくり委員会)
- 参加者数 35名

(5)戦争体験者お話し会

<夏のお話し会>

- 【第1話】 平成24年(2012年)8月11日 10:00～12:00
語り部：大野 貞雄 さん (78歳)
内 容：小学生が見た戦争～満州国・興亜開拓団からの逃避行～
参加者：26名
- 【第2話】 平成24年(2012年)8月11日 13:00～15:00
語り部：小齊 伊佐雄 さん (81歳)
内 容：生涯で最も長かった夜～14歳で死を覚悟した、終戦の日の夜～
参加者：30名
- 【第3話】 平成24年(2012年)8月13日 10:00～12:00
語り部：熊谷 直孝 さん (89歳)
内 容：学徒出陣、そして敗戦のビルマ
～田中穂積早稲田大学総長の為め書き国旗など～
参加者：45名
- 【第4話】 平成24年(2012年)8月13日 13:00～15:00
語り部：田中 和男 さん (90歳)
内 容：中国湖南の戦争体験と靈感
参加者：29名
- 【第5話】 平成24年(2012年)8月15日 10:00～12:00
語り部：荒木 俊夫 さん (83歳)
内 容：終戦の詔勅放送のあと、本土決戦を覚悟
参加者：23名
- 【第6話】 平成24年(2012年)8月15日 13:00～15:00
語り部：佐藤 保 さん (88歳)
内 容：マーシャル諸島ミレー島で敵機と死闘を繰り返し、重傷を負う
受講者：43名

<秋のお話し会>

開催日：平成24年(2012年)11月14日
語り部：吉田 貞次 さん(89歳)
内 容：シベリア抑留体験について
参加者：30名

<開館1周年記念イベント「平和祈念のつどい」>

○平成25年(2013年)3月16日 10:30～12:00
語り部：北岸 正次 さん(90歳)

内 容：八日市・第8航空教育隊での思い出

参加者：69名

○平成25年（2013年）3月16日 13:00～14:30

語り部：樋口 良次 さん（80歳）

内 容：近江八幡への集団学童疎開

参加者：33名

(6) 学童保育所への夏季平和学習プログラム

滋賀県平和祈念館が開館して初めての夏休みに、連日、学童保育所に通所する多くの子どもたちが、当館で戦争と平和について学習するプログラムを提供した。

参加児童は1年生から6年生と幅広いため、午前中の平和学習では滋賀県民の戦争体験や実物資料についてクイズ形式で理解を深めるような内容にした。午後からは、ペットボトルあんどんの製作活動により子どもたちの平和への願いを表現することができた。夏休み期間中、子どもたちが製作したたくさんのおあんどんにより、当館から「平和への思い」を発信することができた。

○実施期間：平成24年（2012年）7月25日～8月10日

○受け入れ団体：学童保育所 9団体（353名）

○内容：平和学習（職員による講座、アニメ上映、展示見学）、製作活動（ペットボトルあんどん）



あんどんに、子どもたちは平和への思いを描く。



あんどんは、8月15日イベントまで館内で展示

○ボランティアグループとの連携

昼休みに時間に交流：昔遊び（わらべうた、おもちゃなど）、戦時食体験、紙芝居



戦時食の試食体験



「わらべうた遊び」の伝承

(7) へいわの学校☆あかり

戦争体験者の体験や平和への思いを継承するために、学校の夏季休業期間中に持続的な学習プログラムを設定し、より深く滋賀県における戦争と平和について理解する児童の育成に取り組むために企画した。「へいわの学校☆あかり」は、当館が実施する夏休み限定の学校で、“あかり”には、戦争のあった事実を知り、夜間も自由にあかりがともせる平和な世の中を作っていきたいという願いを込めている。

今回は次年度に向けてのモデル事業としての位置づけで実施し、当館の近隣小学校およびホームページでのみ広報した。参加者は3名であった。

○募集期間 平成24年(2012年)7月2日～7月15日

○実施期間 平成24年(2012年)7月21日～8月25日

○告知方法 チラシ(東近江市内小学校4校)、ホームページ

○参加者数 3名

○内容

①開校式(7月21日)…館長あいさつ・自己紹介・展示見学・講座

②現地見学…東近江市の掩体壕、米原市の蒸気機関車避難壕

③ペットボトルあんどん作成

④体験者お話し会…3名の方のお話し会

⑤平和のあかりコンサート&ナイトミュージアム

⑥学習のまとめ…これまでの学習についてのまとめ

⑦学習発表会・閉校式(8月25日)…学習発表、講評、修了証授与、記念撮影



(8) こども体験学校「平和のねがいをこめて、アロマキャンドルづくり」

本事業は、夏休み期間中の体験的な学習イベントとして、平成24年(2012年)8月5日にあいとう菜の花館との協働で実施した。参加者は児童34名とその保護者である。

○平和学習



○アロマキャンドルづくり (あいとうエコプラザ菜の花館)



(9) 平和のあかりコンサート&ナイトミュージアム

本事業は、子どもから大人、幅広い世代の人々が「戦争と平和」について考え、自分にできるきっかけ作りをねらいとして平成24年(2012年)8月15日に実施した。当日は、開館時間を午後9時まで延長し、ジャズグループ「アングル・オールスターズ」による平和のあかりコンサートや展示説明会、夏季学習プログラムで製作したペットボトルあんどんの点灯、ボランティアグループによる戦時食体験や紙芝居など多様なプログラムを実施した。コンサートに50名近くの参加者があったほか、全体で約150名の参加があった。

夏休み特別開催
平和のあかりコンサート & ナイトミュージアム

滋賀県平和祈念館では、夏休み特別開催として、「平和のあかりコンサート&ナイトミュージアム」をおこないます。また、夏休みには親子連れに子どもたちが作ったペットボトルあんどんの点灯もおこないます。
 ご家族、ご友人と一緒にご来館平和祈念館へお越しください。

日時 8月15日(水)18:00~20:30

スケジュール

18:00 受付 紙芝居や戦時食体験

18:30 平和のあかりコンサート

出演バンド: アングル・オールスターズ
 上原 豊 (ボーカル)
 神林雅弘 (アルトサックス)
 奥 誠司 (ギター)
 奥田 豊 (ベース)

19:30 展示見学(説明を行います。)

20:00 「平和のあかり」点灯(屋外にて)

20:30 閉館

参加費 無料 **定員** 50名

申し込み方法
 下記申込用紙に必要事項をご記入の上、滋賀県平和祈念館へご連絡ください。
 FAXもしくはE-Mailでお申し込みください。

お問い合わせ・申し込み先
 滋賀県平和祈念館
 TEL 0749-46-0300
 FAX 0749-46-0350
 E-Mail heiwapref.shiga.jp.jp

※リトリセン

「平和のあかりコンサート&ナイトミュージアム」申込書

代表者お名前() 参加人数(大人 人 子ども 人)

住 所()

電話番号()

イベント開催のチラシ



(10) 平和を願う子どもピースメッセージ コンクール

次世代を担う子どもたちが、戦争と平和をテーマにした絵を描くことにより、戦争の悲惨さや平和の尊さを考えるきっかけとするとともに、子どもたちが描く絵画を通して、広く県民に平和への思いを伝えることを目的として実施した。今回、県内の小学校5年生から中学生を対象に作品を募集したところ、13市町20校から383点の作品応募があった。

応募のあった中から、小学校、中学校ごとに優秀作品を3点ずつ選定し、表彰するとともに、すべての応募作品を館内に展示した。

○展示期間 平成24年（2012年）11月1日～12月2日

○表彰式 平成24年（2012年）11月3日

○入賞者

小学校の部	ピース賞	甲賀市立綾野小学校	第6学年	大岡	昂永さん
	ハート賞	米原市立大原小学校	第6学年	杉山	龍太さん
	オリーブ賞	野洲市立祇王小学校	第6学年	中島	光基さん
中学校の部	ピース賞	私立立命館守山中学校	第2学年	樋上	真子さん
	ハート賞	東近江市立玉園中学校	第3学年	吉崎	彩夏さん
	オリーブ賞	私立立命館守山中学校	第2学年	遠藤	伊吹さん



(11)開館1周年記念イベント「平和祈念のつどい」

平成25年(2013年)3月16日、17日、20日の3日間にわたって、開館1周年記念イベント「平和祈念のつどい」を開催した。本イベントでは、戦争体験者のお話をはじめ、紙芝居による戦争体験のお話や戦中・戦後に流行した歌を歌ったり、蓄音機で流したりした。また、ボランティアの協力のもと、来館者に戦時食を提供するなど、幅広い年齢層に来てもらえるプログラムを実施し、3日間で延べ615人の来館者があった。

○プログラム

<3月16日>

戦争体験者お話し会(前掲)

<3月17日>

・まーおばちゃんの紙芝居(参加者:95名)

満州は証人 ～語りつぐ 平野喜三さんの戦争体験～

・蓄音機で、思い出の歌・なつかしの歌を聞こう

・すいとんを食べて、「食」から平和を考えよう(参加者:100名)

・日本舞踊 内田流

・なつかしのメロディー(参加者:167名)

<3月20日>

・映画「結魂」上映会(参加者:151名)

滋賀県平和祈念館 開館1周年記念イベント
平和祈念のつどい
 平成25年 3月16日(土)・17日(日)・20日(水・祝)

3月17日(日) 会場 2階 研修室 参加無料

12時30分～13時 **日本舞踊 内田流**
 内田 雅雄女さん 内田 雅華与さん

13時～14時 **なつかしのメロディー**
 戦中・戦後に流行した思い出の歌を一緒に歌いましょう!
 出演 野藤 みえ子さん (演劇ジャパロ)
 曲目 丸魚の母 (昭和14年) 妻が後継を継ぐ (昭和15年) リンゴの唄 (昭和20年) 異国の丘 (昭和23年) 母の唄 (昭和29年) 花は咲く (平成24年) など

ドキュメンタリー映画 **結魂**
 企画・監修 原 一男 監督 長岡 純雄
 主演 三田 佳子 ほか

3月20日(水・祝) 13時～15時 (開場:12時30分) 会場 豊楽コミュニティセンター 大ホール 入場無料

滋賀県平和祈念館

滋賀県平和祈念館 開館1周年記念イベント 平和祈念のつどい
 滋賀県平和祈念館が開館して、1年が経ちました。これまでに4万人以上の方にご利用いただきました。このたび、開館1周年を記念して3月16日(土)・17日(日)・20日(水・祝)の3日間、様々なイベントを開催します。みなさま是非ご参加ください。

3月16日(土) 参加無料

戦争体験者のお話し会 ～戦争中の体験から平和を考えよう～ 会場 1階 地域交流室

10時30分～12時 語り部 北岸 正次さん (90歳) 13時～14時30分 語り部 樋口 良次さん (80歳)
 「八日市・第8射撃教育隊での思い出」 「所江八幡への奉還学習会記録、大坂本宮職、戦隊長機務整備員として各地に転戦」そして66年後の卒業式」

3月17日(日) 参加無料

紙芝居「満州は証人」～語りつぐ 平野喜三さんの戦争体験～

11時～12時 演・平野喜三さんは、1940年、20歳で徴兵・召集をうけてから満州国での4年8ヵ月、激戦、シベリア留置を経て、1946年8月の引揚げまで、とても過酷な体験をされました。その平野さんの体験を、まーおばちゃんの紙芝居で語りつぎます。
 語り まーおばちゃん 会場 1階 地域交流室

蓄音機で、思い出の歌・なつかしの歌を聞こう (国立音楽館) (演劇ジャパロ)
 演奏 藤澤 政幸さん 会場 1階 展示室

すいとんを食べて、「食」から平和を考えよう
 11時50分～12時30分 会場 2階 チェラリー 先着100食・無料

～親子でやってみよう～ (滋賀県平和祈念館ボランティアの会 提供) オリジナル缶バッチづくり 会場 40名、50名、60名、80名
 3月16日(土)・17日(日) 20日(水・祝) 各日10時～

わたがしづくりにチャレンジ 会場 40名、50名、60名
 3月16日(土)・17日(日) 各日10時～

3月20日(水・祝) 10時～12時 市民共同視聴覚施設記念 平和と環境・エネルギーを考える集い
 講師 NPO法人大塚共同視覚ネットワーク事務局 講師 藤さん 会場 2階 研修室 定員40名
 申込先 八日市市民会館 TEL 0749-22-0186 参加無料

お問い合わせ・お申し込み先
 滋賀県平和祈念館
 〒520-0137 滋賀県東近江市下中野町431番地
 TEL 0749-46-0300 FAX 0749-46-0330
 E-mail: info@shiga-peace.jp

入場料 無料
 観覧時間 午前9時30分～午後5時
 観覧料 1人100円(当日現金による場合は別途お支払いください)
 観覧時間 午前9時30分～午後5時(観覧料は別途お支払いください)
 観覧料 1人100円(当日現金による場合は別途お支払いください)
 観覧時間 午前9時30分～午後5時(観覧料は別途お支払いください)
 観覧料 1人100円(当日現金による場合は別途お支払いください)

アクセス
 豊楽コミュニティセンター 八日市ICから車で約10分
 東近江市市民会館(市民会館)から徒歩約10分(バス停徒歩約10分)
 滋賀県立八日市高等学校(バス停徒歩約10分)から徒歩約10分

平和祈念のつどい 開催チラシ



戦争体験者お話し会（北岸正次さん）



戦争体験者お話し会（樋口良次さん）



まーおばちゃんの紙芝居



蓄音機による懐かしの音楽メロディー演奏



ボランティアによる戦時食「すいとん」の提供



映画「結魂」上映会

(12) その他一般向けの普及啓発事業

○まーおぼちゃんの紙芝居「満州は証人～語りつぐ 平野喜三さんの戦争体験～」の上演

本事業は、まーおぼちゃんが大津市の故・平野喜三さんから聞き取った話を紙芝居で紹介するもので、平成24年（2012年）11月および平成25年（2013年）3月に開催した。

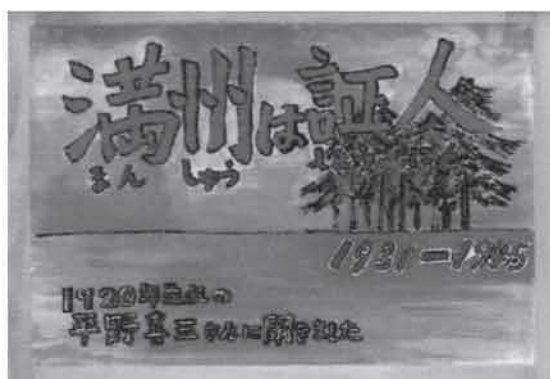
内容は、平野さんの満州出征・シベリア抑留体験で、徴兵・召集を受けてから満州国での4年8か月、そして敗戦後、シベリア抑留を経て、昭和21年（1946年）8月の引揚げまでの過酷な体験を語りつぐものである。参加者は、延べ127名であった。

<11月開催分>

- ・開催日：平成24年（2012年）11月23日
- ・参加者：32名

<3月開催分>（前掲）

- ・開催日：平成25年（2013年）3月17日
- ・参加者：95名



紙芝居「満州は証人」



紙芝居上演の様子

4 平和学習支援事業

(1) 来館学習の支援

○来館学校数 実績（※県内学校のみ）

区分	総数	小学校	中学校	高等学校	大学等
学校数	54校	42校	7校	4校	1校
児童・生徒数	2,348人	2,004人	216人	107人	21人

○主な方法

- ・展示見学
(学校が作成するワークシートによる調べ学習)
- ・館の職員によるミニ講座
- ・戦争体験者によるお話会
- ・戦時食体験



展示見学



資料観察

○実践校からの感想や意見（抜粋）

<児童生徒の感想>

- ・戦争について実物にふれ、スクリーンの映像や講師の人の話を聞いて兵士になった男の人、その家族も数えきれないほどの悲しみやむなしさをかかえていたんだなあ…と思うと、とってもつらい気持ちになりました。
- ・広島や長崎のことは教科書にのって知っていたけど、自分の住んでいる滋賀県のことは知らなかったの、よい経験になった。二度と起こってはいけない戦争のことを次は自分たちが語りついでいけたらいいと思います。
- ・実際に戦争を経験している人の話をまとめたビデオを見て、戦争がどれだけ怖くて、人を悲しい気持ちにするのかということを知りました。

<教員の意見>

- ・平和へのおもいを深めていくためには、より感性に訴えたり、人々の想いや願いにふれたりすることが必要である。そのためには、五感を通しての学びの場が必要である。この祈念館は、それに適していると思われる。
- ・滋賀県平和祈念館で自分のふるさとの平和学習ができた事は、戦争というものをより身近に感じ、効果的な学習ができたのではないかと考えています。

(2) 出前授業

○出前授業実施校 実績

区分	総数	小学校	中学校	高等学校	大学等
学校数	46校	24校	19校	3校	0校
児童・生徒数	5,363人	1,677人	2,989人	697人	0人

○主な方法

- ・実物や写真・動画の提示
- ・体験談の紹介
- ・資料観察



実物にふれる活動



資料の提示

○実践校からの感想や意見（抜粋）

<児童生徒の感想>

- ・実物などを見せてもらおうと、その時起こったことがよく分かりました。私たちの近くでも爆弾が落とされた事もよく分かりました。おばあさんの話で飛行機が飛んでいても慣れたという話を聞いて、本当にびっくりしました。それだけたくさんの飛行機が飛んでいたりしたんだなと思いました。やっぱり戦争はこわいです。
- ・今回実物に触れて、そのものに込められた思いなどを心から感じる事ができました。この学習で知ったことをもっと詳しく調べ、多くのことを知りたいです。
- ・講師の方の話を聞いて、戦争に対する恐怖心が強くなりました。平和が当たり前と思うのではなく、現在の平和は過去の戦争などの苦しみや痛みからできた私の祖先たちが残してくれたかけがえのない宝物と思うことが大事だと感じました。

<教員の意見>

- ・今日、講師の先生の話をお聞きしましたが、とても関心をもったように感じました。教室へ帰り、昼休みに数名の子が話をしにきて考え合いました。特に、映像でのお話で心動かされた子が多かったように思います。今日の内容は、自分たちの住む滋賀県、又近くの市で実際にあったことで説明いただいたので、心に感じるものが大きかったと思います。
- ・子どもたちの身近な、さらに興味を引くような実物に触れることができ、平和学習の導入へと入ることができた。

(3) 資料貸出

滋賀県平和祈念館では、学校や地域への平和学習を支援するためにハンズオン資料やパネルの貸出を行っている。平成 24 年度には、新しくパネルCセット<滋賀で学ぶ戦争の記録>と小学校での授業で活用をねらいとしたハンズオン資料および写真パネルを組み合わせた「ひとつのはなセット」を作成した。

- ハンズオン資料…千人針、臨時召集令状（複製）、出征たすき、防空頭巾、配給切符、慰問袋、鉄かぶと、ゲートル、国防婦人会たすき、いなど採り袋、雑誌「週刊少国民」（ラミネート版）、カルタ「戦ふ日本カルタ」（ラミネート版）、双六「大東亜共栄圏めぐり」（ラミネート版）
- パネル…Aセット（16 枚組）
Bセット（20 枚組）
Cセット（16 枚組）<滋賀で学ぶ戦争の記録>
写真・ポスター類（64 枚）
- ひとつのはなセット
- 視聴覚資料…滋賀県民の戦争体験証言ビデオ「記憶の湖（うみ）」
その他、戦争や平和に関するビデオ・DVDなどがある。

授業で使える

「ひとつのはな」資料セット

滋賀県平和祈念館の「貸し出し資料セット」の紹介です。

① 写真パネル3枚
② ぞつろう
③ 軍帽
④ 鉄かぶと
⑤ 軍服
⑥ 召集令状（複製）

このセットは、国語科「一つの花」等の授業で活用できるように組みました。

【「ひとつのはなセット」資料説明】

- ① 写真（A3サイズ・裏面マグネット付）…出征風景・機銃弾・米軍の航空機（空襲）
- ② ぞつろう…出征時、待参する勇退け箱
- ③ 軍帽…出征時、かぶる帽子（陸軍）
- ④ 鉄かぶと…戦地で兵士がかぶるもの（陸軍）
- ⑤ 軍服…兵士が着用したもの
- ⑥ 召集令状（複製）…透写、「赤紙」と呼ばれていた

23cm×42cm×64cmのケースに入れてお貸しします。

貸し出し方法

- ・資料の多くは当時使用されていた実物です。取り扱いには十分留意してください。
- ・貸し出し期間は原則1週間です。
- ・利用日時を利用したい10日前までにご連絡ください。
- ・利用にあたっては、借用申請書をご提出していただきます。
- ・貸し出し費用は無料です。

☆その他にも、祈念館には授業で使える貸し出し資料セットがあります。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ 滋賀県平和祈念館

TEL 0749 46 0300 FAX 0749 46 0350
E-mail: heiwa@prefahiga.jp

詳しくはホームページ「しがけんバーチャル平和祈念館」をご覧ください。

しがけんバーチャル平和祈念館 検索

平成 24 年度 貸出実績

○学校への貸出 23 校

内訳

小学校 18 校

中学校 1 校

高等学校 4 校

対象児童生徒数 2,312 人

○地域への貸出 22 件

学校への貸出は、授業で活用するためのハンズオン資料や視聴覚映像（体験談やアニメ）の要望が多い。

滋賀県民の戦争体験をまとめたパネルは、主にパネルAおよびBセットである。地域からの貸出の要望は、夏に集中する傾向がある。

(4) 滋賀県平和祈念館 活用の手引き・実践事例集の発行

①『活用の手引き』作成委員会 名簿

委員長	清水 弘孝	大津市立南郷小学校
委員	白寄 治	近江八幡市立武佐小学校
	前川 啓史	東近江市立能登川西小学校
	折木 公美	守山市立守山中学校
	高橋 義昭	滋賀県立八日市高等学校
	神部 直	滋賀県教育委員会
	城 敬	滋賀県教育委員会
	玉井 正	滋賀県教育委員会
事務局	田中 慶希	滋賀県平和祈念館
	林 耕平	滋賀県平和祈念館

※所属は、平成 25 年（2013 年）3 月現在

②『実践事例集』作成にあたっての協力校および協力教育委員会

米原市立大原小学校	・ 湖南市立菩提寺北小学校
甲賀市立信楽中学校	・ 草津市立松原中学校
米原市立大東中学校	・ 湖南市立石部中学校
滋賀県立大津清陵高等学校	・ 滋賀県立北大津高等学校
日野町教育委員会	

③主な内容

○『活用の手引き』

- ・ 研究授業（小学校 第 6 学年 社会科） 「アジア・太平洋に広がる戦争」
- ・ 『もっと知りたい 滋賀で学ぶ戦争の記録』を活用した授業の指導案
（小学校・中学校・高等学校）

○『実践事例集』

- ・ 滋賀県平和祈念館に来館しての学習
- ・ 滋賀県平和祈念館の職員が学校に出向いて行う学習
- ・ P T A 研修 ・ 教職員研修

○活用資料編

- ・ 館内調べ学習ワークシート例 ・ 国語科での活用について
- ・ コラボでピース（他施設と組み合わせる校外学習）

5 ボランティア活動支援事業

当館では、平成 23 年度から当館の活動に参加いただけるボランティアの募集を開始した。平成 24 年度においては、新たにボランティアの申込があった方を対象とした「ボランティア登録講座」を 3 回開催（4 月、7 月、10 月）し、平成 24 年度末現在におけるボランティア登録者数は 60 名となっている。年齢層は、20 代から 80 代の幅広い世代の方に登録いただいております、それぞれ語り部・語り継ぎ部活動グループ、施設案内活動グループ、戦時食体験活動グループなど 9 つのグループで活動が進められている。また、ボランティア同士の情報共有・情報交換のツールとして、情報紙「平和の灯」が制作されており、開館から月 1 回のペースで発行されている。

ボランティアグループには、こうした活動を通じて、当館の利用者との交流を図り、さらには、利用者や館とをつなぐ役割を担っていただくことが期待される。当館では引き続き、ボランティアの募集を行うとともに、その活動の支援を行っていく。

○ボランティア活動グループの紹介

語り部、語り継ぎ部 活動グループ	自らの体験や家族や体験者の方々から聞いた話をもとに、戦争体験を語り継いでいく活動をします。
施設案内活動グループ	館内での来館者との交流や施設案内をします。
戦時食体験活動グループ	食べるものがなかった戦争末期から戦後の生活苦を感じ、「食」の大切さについて考えます。
絵本・紙芝居読み聞かせ 活動グループ	平和や戦争をテーマにした絵本や紙芝居の読み聞かせをする活動をします。
手紙等解説グループ	戦争中の手紙や日記などを、読みやすいように解説する作業をします。
地域調査グループ	県内の戦争遺跡（掩体壕、列車壕など）のフィールドワークなどをします。
戦争体験聞き取り調査 グループ	館職員とともに、戦争体験者の方からお話を聞き、記録する活動をします。
昔遊び活動グループ	子どもたちに昔の遊びを伝える活動をします。



ボランティア情報紙「平和の灯」創刊号（平成24年4月5日発行）



滋賀県平和祈念館ボランティア



戦時食活動グループの活動の様子



手紙等解読グループの活動の様子



絵本・紙芝居読み聞かせ活動グループの活動の様子